

令和6年度

事業報告書

公益財団法人福島県障がい者スポーツ協会

目 次

- 1 事業活動方針
- 2 事業概要
- 3 事業区分別事業実績

1 事業活動方針

障がいのある方の積極的なスポーツ活動を通じて、障がい者スポーツの普及・振興に努めるとともに、障がいのある方の心身の健康増進及び機能回復を図ることにより、社会参加を促進し、障がい者福祉の向上に寄与する。

また、2021年に開催された東京2020パラリンピックや2025年に国内開催が決定したデフリンピック等によりスポーツへの関心が高まっている。このような状況を最大限活かし、これまで以上に障がいのある方が日常的にスポーツに親しむことができる文化を創出するとともに、障がいのある方とない方が一緒にスポーツを楽しむことができる環境を推進するための取組を実施する。

2 事業概要

(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

障がいのある方が身近な地域において、日常的にスポーツに取り組める環境を整備するため、県内で活動する各団体の活動への支援や、県障がい者スポーツ大会等の開催、全国障害者スポーツ大会への福島県選手団の派遣を行い、競技を通じたスポーツの楽しさを体験してもらうことで、障がい者の社会参加の促進を図った。

【実績】

① 障がい者団体スポーツ活動支援事業

- ・ 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成 6件

② 福島県障がい者スポーツ大会開催事業

- ・ 第62回福島県障がい者スポーツ大会の開催
開催日：令和6年5月19日（日）、26日（日）
場 所：会津若松市ほか
参加者：1,275名（うち、選手778名、役員及びボランティア497名）
種 目：陸上、フライングディスク、卓球、サウンドテーブルテニス、車いすバスケットボール、アーチェリー、水泳、ボッチャ、バスケットボール、サッカー、バレーボール

③ 全国障害者スポーツ大会選手団派遣事業

- ・ 第23回全国障害者スポーツ大会佐賀大会への選手団派遣
派遣期間：令和6年10月24日（木）～10月29日（火）（5泊6日）
派遣人数：71名（うち選手36名、役員35名）

④ 北海道・東北ブロック予選会開催事業

- ・ バレーボール競技（精神障がいの部）
開催日：令和6年6月23日（日）
場 所：猪苗代町（猪苗代町総合体育館「カメリーナ」）
参加者：7チーム（144名。うち選手85名、役員59名）
- ・ 車いすバスケットボール競技
開催日：令和6年6月30日（日）
場 所：福島市（あづま総合体育館）

参加者：3チーム（82名。うち選手25名、役員56名）

（2）公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上

障がい者スポーツの振興を図るには、障がい者スポーツの知識のある指導員及びボランティアの養成が必要不可欠であることから、地域で活動する指導員等の育成のための講習会の開催や、資格取得のための支援、地域の特色に合わせたマネジメントができる環境整備推進に向け指導者協議会の運営を支援した。

【実績】

① 初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業

- 令和6年度初級指導員養成講習会の開催
開催日：令和6年12月7日（土）、12月8日（日）、12月14日（土）
場 所：郡山市障害者福祉センター
受講者：16名

② 公認パラスポーツ指導員育成支援事業（中級・上級資格取得のための支援）

- 令和6年度公認パラスポーツ医養成講習会を受講した医師1名に助成した。

③ 福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業

- 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の各部活動費として助成金を交付した。
- 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の運営を支援した。

（3）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

特別支援学校卒業後など、競技に取り組める環境づくりをするために、障がい者の各種競技団体を育成・強化に資する取組を支援し、継続してスポーツをする環境を整備した。

【実績】

① 選手指導者組織育成支援事業

- 2名の選手（ボッチャ競技2名）の活動を支援した。

② 団体競技強化支援事業

- 全国障害者スポーツ大会のブロック予選会等に出場する5競技団体の強化活動を支援した。

（4）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

スポーツをきっかけとして、障がいのある方の積極的な活動を通じた社会参加と自立を促進するため、選手の育成強化と競技の普及・振興を一本化し、次世代を担う選手の輩出と障がい者スポーツの裾野の拡大を図った。

【実績】

① 各種助成事業

- 全国大会等出場助成金 4件（個人2件、団体2件）
- 国際大会出場等激励金 7名

② 運動導入教室開催事業

障がいのある方が運動等をはじめの機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う教室を開催した。

- ・ 全104回実施、延べ677名参加

③ 地域スポーツ教室開催事業

福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部が開催する地域スポーツ教室及び地域スポーツ大会の開催費用の一部を助成した

- ・ 教室 全56回実施、延べ1,151名参加
- ・ 大会 全4回実施、243名参加

④ 種目別スポーツ教室開催事業

障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催した。

- ・ 12種目 全82回、延べ1,026名参加

⑤ 各障がい者スポーツ大会支援事業

県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援した。

- ・ 5団体（5大会）の開催費用の一部を助成

⑥ ふくしまネクストアスリート支援事業

本県にゆかりがあり、本県障がい者スポーツの発展の一翼を担う次世代アスリートを指定し、選手が行う強化活動に要する費用を支援した。

- ・ 10名をふくしまネクストアスリートに指定し、活動を支援した。

⑦ ふくしまシャイニングスタープロジェクト

優れた素質や潜在的な能力を持つアスリートの原石を発掘し、将来的に本県を代表する選手として国内や世界で活躍する次世代パラアスリートの輩出を目指すため、県内在住の障がいのある方を対象に体力・身体測定会や競技体験を実施した。

- ・ 令和6年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクトの開催

開催日：令和7年3月23日（日）

会場：郡山市障害者福祉センター、郡山市香久池保育所

参加者：21名

(5) 障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒にスポーツに親しみ、互いの理解を深めてもらうことが重要であるため、学校や総合型地域スポーツクラブを始めとした県内の様々な団体からの要望に応じた競技体験等による出前講座の実施や、県内で開催されるスポーツイベント等における体験ブースの出展などによる、障がい者スポーツの魅力発信に取り組むとともに、県内の大学等と連携したサポーター（支援者）の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備した。

また、協会広報誌の発行やホームページ等を活用した情報発信・情報提供を行った。

【実績】

① スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト

【ステップアップ×魅力発信】

ア 出前講座（体験教室・後援）の開催

パラ・デフスポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・総合型地域スポーツクラブ・地元企業・地域団体・自治体等の様々な団体からの要望に応じた、様々なパラ・デフスポーツ競技体験や講話等からなる出前講座を実施した。

- ・ 実施回数：全72回、参加者：3,626名

イ 障がい者スポーツ体験ブース等の出展

障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、障がい者スポーツのデモンストレーションの実施及び競技体験ブースを出展した。

- ・ 実施回数：全7回、参加者：483名

ウ ボッチャふくしまカップ2024の開催

障がいの有無や性別、年齢、国籍等に関係なく、全ての人が同じ場で共にスポーツに親しみ、競い合う機会を創出する企画として、ボッチャ競技による全県規模の大会を初めて開催した。

- ・ 実施回数：全1回、参加者：48チーム（180名）

【ステップアップ×環境整備】

エ サポーター養成講習会の開催

県内の医療関係の大学等と連携し、学生等を対象とした障がい者スポーツに関する講習会を開催した。

- ・ 実施回数：全3回、参加者：115名

オ 障がい者スポーツ用具の貸出事業

障がい者スポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、競技用具等について貸出を行った。

- ・ 貸出件数：全16件

【東京2025デフリンピック機運醸成への取組等】

カ 県内プロスポーツチームの公式戦等における「手話応援デー」の開催

「東京2025デフリンピック」のサッカー競技の本県開催に向けた機運醸成を図るため、県や県内プロスポーツチーム等と連携し「手話応援デー」を実施した。

- ・ 全2回実施

キ 国際手話通訳テキストの無料配布事務

大会の開催を契機としたろう者の文化の理解促進に向け、国際手話に係るテキストについて広く県民に配布した

- ・ 配布冊数：36冊

ク デフスポーツ体験イベント・ブース出展等の実施

大会の機運醸成に向け、県や関係機関と連携を図りながら、自治体や競技団体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベン

ト等とタイアップしながら、関連競技のデモンストレーションの実施や体験ブースを出展した。

併せて、デフリンピックに係るパンフレット等の配布、パネル展示等を実施した。

② 協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供

協会広報誌（令和7年版）の発行、各種SNSでの情報発信

(6) 障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

国及び県のスポーツ推進に関わる会議等に参加し情報収集を行うとともに、県内の障がい者スポーツ医等の有識者との情報共有を図った。

① 各種障がい者スポーツに関する情報収集

地域ブロック単位や全国単位の会議等への出席した。

② 障がい者スポーツ医学委員会との連携

医学委員会の委員及び協会職員との間で情報交換などを行った。

(7) その他の事業

チャレンジド・スポーツ支援事業

○サントリーチャレンジド・アスリート奨励金を活用した事業の実施

重度障がい児・者のスポーツ参加を目的に、VR等によるスカイスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供することを目的とした事業を実施した。

- ・ 実施回数：全1回、参加者：115名

(8) 協会の運営

障がい者スポーツの中核的組織である本協会の安定した運営を図るため、理事会や評議員会を開催したほか、専門家（税理士）による財務会計関係の助言等を受け、運営体制の強化を図った。

3 事業区分別事業計画

【公益事業】(1) 障がい者スポーツ大会の開催及び奨励

事業名	①障がい者団体スポーツ活動支援事業	決算額	182,970円
概要	障がいのある方のスポーツを通じた社会参加や日常生活の充実を促進するため、各障がい者団体等が行うスポーツ活動に対し助成する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>本県障がい者スポーツの推進に寄与し、障がいのある方を対象にスポーツ事業を展開している団体に対し、予算の範囲内において事業の一部を助成した。</p> <p>(1) 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成</p> <p>【団体活動支援：フォローアップ助成】</p> <p>助成先：6団体</p> <p>助成額：180,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人アダプテッドスポーツいわき (30,000円) ・川俣町身体障がい者福祉会 (30,000円) ・喜多方市身体障がい者福祉会 (30,000円) ・Let`s にしごう (30,000円) ・TEAM まきばの朝 (30,000円) ・おのさくらクラブ (30,000円) <p>(2) 県内新規障がい者スポーツ団体への助成</p> <p>【新規活動支援：スタートアップ助成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績なし <p>※ 決算額には団体への振込手数料含む。</p>		
参考	<p>令和5年度実績</p> <p>(1) 県内障がい者福祉団体及び障がい者スポーツ団体への助成</p> <p>助成先：7団体 助成額：210,000円</p> <p>(2) 県内新規障がい者スポーツ団体への助成</p> <p>助成先：1団体 助成額：50,000円</p>		

事業名	②福島県障がい者スポーツ大会開催事業	決算額	6,913,699円																																							
概要	<p>障がいのある方が、スポーツを通じて、心身の健康維持・増進を図るとともに積極的な社会参加と社会的自立を促進し、あわせて県民の障がいのある方に対する理解を深めることを目的に大会を開催する。</p> <p>なお、本大会は、全国障がい者スポーツ大会個人競技の予選を兼ねるものとするが、全国大会派遣種目及び選手の決定等については、大会後に開催する選考会を経て、福島県の総合的な判断により決定する。</p>																																									
内容	<p>事業実績 下記のとおり開催した。</p> <p>期 日：令和6年5月19日（日）及び26日（日） 競技種目・会場は以下のとおり</p> <table border="1" data-bbox="303 907 1369 1579"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>競技種目</th> <th>障がい種別</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">5月19日 (日)</td> <td>陸上競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>あいづ陸上競技場</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場</td> </tr> <tr> <td>卓球競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>鶴ヶ城体育館</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス競技</td> <td>身体</td> <td>福島県点字図書館（※福島市）</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケットボール競技</td> <td>身体</td> <td>河東総合体育館</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー競技</td> <td>身体</td> <td>白龍山アーチェリーレンジ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">5月26日 (日)</td> <td>水泳競技</td> <td>身体・知的・精神</td> <td>会津若松市コミュニティプール</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ競技</td> <td>身体</td> <td>ふれあい体育館</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール競技</td> <td>知的</td> <td>あいづ総合体育館</td> </tr> <tr> <td>サッカー競技</td> <td>知的</td> <td>会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場</td> </tr> <tr> <td>バレーボール競技</td> <td>身体・精神</td> <td>あいづ総合体育館</td> </tr> </tbody> </table> <p>参加者：1,275名（選手778名、役員・ボランティア497名）</p> <p>○第23回全国障害者スポーツ大会福島県代表選手選考委員会 期 日：令和6年6月第1週（書面により実施）</p>			期日	競技種目	障がい種別	会場	5月19日 (日)	陸上競技	身体・知的・精神	あいづ陸上競技場	フライングディスク競技	身体・知的・精神	会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場	卓球競技	身体・知的・精神	鶴ヶ城体育館	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館（※福島市）	車いすバスケットボール競技	身体	河東総合体育館	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ	5月26日 (日)	水泳競技	身体・知的・精神	会津若松市コミュニティプール	ボッチャ競技	身体	ふれあい体育館	バスケットボール競技	知的	あいづ総合体育館	サッカー競技	知的	会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場	バレーボール競技	身体・精神	あいづ総合体育館
期日	競技種目	障がい種別	会場																																							
5月19日 (日)	陸上競技	身体・知的・精神	あいづ陸上競技場																																							
	フライングディスク競技	身体・知的・精神	会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場																																							
	卓球競技	身体・知的・精神	鶴ヶ城体育館																																							
	サウンドテーブルテニス競技	身体	福島県点字図書館（※福島市）																																							
	車いすバスケットボール競技	身体	河東総合体育館																																							
	アーチェリー競技	身体	白龍山アーチェリーレンジ																																							
5月26日 (日)	水泳競技	身体・知的・精神	会津若松市コミュニティプール																																							
	ボッチャ競技	身体	ふれあい体育館																																							
	バスケットボール競技	知的	あいづ総合体育館																																							
	サッカー競技	知的	会津総合運動公園多目的サッカー・ラグビー場																																							
	バレーボール競技	身体・精神	あいづ総合体育館																																							
参考	<p>令和5年度実績 会 場：いわき市を中心に開催 参加者：1,307名（選手772名、役員・ボランティア535名）</p>																																									

事業名	③全国障害者スポーツ大会福島県選手団派遣事業	決算額	14,391,677円
概要	福島県障がい者スポーツ大会に出場した選手のうち、福島県代表選手選考委員会で選考された選手を本県代表として派遣する。また、北海道・東北ブロック予選会を突破した団体競技について本県代表として本戦へ派遣する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>第23回全国障害者スポーツ大会へ福島県選手団を派遣した。</p> <p>派遣期間：令和6年10月24日（木）出発 25日（金）公式練習 26日（土）開会式 27日（日）2日目 28日（月）閉会式 29日（火）帰県</p> <p>開催場所：佐賀県</p> <p>派遣人数：選手36名（個人競技のみ） 役員35名</p> <p>派遣競技：○個人競技 陸上競技（身・知）、水泳（身・知）、アーチェリー（身）、 卓球（身・知・精）、（サウンドテーブルテニス（身）を含む）、 フライングディスク（身・知）、ボッチャ（身）</p> <p>○団体競技 なし</p>		
参考	令和5年度実績 特別全国障害者スポーツ大会（鹿児島県）：選手58名、役員41名を派遣		

事業名	④北海道・東北ブロック予選会開催事業	決算額	1,127,705円
概要	全国障害者スポーツ大会予選会である北海道・東北ブロック予選会の一部競技を福島県内で開催する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>1 バレーボール競技（精神障がいの部） 期 日：令和6年6月23日（日） 会 場：猪苗代町総合体育館「カメリーナ」（猪苗代町） 出場チーム：青森県、岩手県、秋田県、宮城県、仙台市、山形県、福島県 参加人数：144名（選手85名、スタッフ59名）</p> <p>2 車いすバスケットボール競技 期 日：令和6年6月30日（日） 会 場：あづま総合体育館（福島市） 出場チーム：青森県、仙台市、福島県 参加人数：82名（選手25名、スタッフ56名）</p>		
参考	<p>令和5年度実績</p> <p>競技種目：サッカー競技（知的障がい） 期 日：令和5年6月17日（土）、18日（日） 会 場：十六沼運動公園サッカー場（福島市） 参加人数：153名（選手95名、監督・コーチ等27名、役員・審判員31名）</p>		

【公益事業】（２）公認パラスポーツ指導者の養成及び資質向上

事業名	①初級パラスポーツ指導員養成講習会開催事業	決算額	428,937円																			
概要	公認パラ障がい者スポーツ指導者を養成し、県内各種大会における活動によって、障がい者スポーツの普及・振興に寄与する。																					
内容	<p>事業実績</p> <p>障がいの基本内容を理解し、障がい者のスポーツの導入に必要な基本的知識・技術を身に付け、健康や安全管理を重視した指導ができる指導員を育成するための講習会を下記のとおり開催した。</p> <p>名称：令和6年度福島県パラスポーツ指導員養成講習会（初級） 期日：令和6年12月7日（土）、12月8日（日）、14日（土） 会場：郡山市障害者福祉センター 受講者：16名 共催：福島県教育委員会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会 後援：（公財）福島県スポーツ協会、（公財）日本パラ障がい者スポーツ協会 講習会カリキュラム：</p> <table border="1" data-bbox="300 1032 1366 1648"> <thead> <tr> <th>カリキュラム</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各障がいの理解 身体障がい編</td> <td>県スポーツ課、（一社）日本ボッチャ協会</td> </tr> <tr> <td>各障がいの理解 知的障がい編</td> <td rowspan="3">県障がい者スポーツ指導者協議会</td> </tr> <tr> <td>障がいのある人との交流</td> </tr> <tr> <td>各障がいの理解 精神障がい編</td> </tr> <tr> <td>全国障害者スポーツ大会の概要</td> <td rowspan="3">（一社）日本車いすインストラクター協会</td> </tr> <tr> <td>障がい者スポーツの意義と理念</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションスキルの基礎</td> </tr> <tr> <td>各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫</td> <td rowspan="2">県障がい者スポーツ指導者協議会</td> </tr> <tr> <td>障がい者スポーツ推進の取り組み</td> </tr> <tr> <td>障がい者スポーツに関する諸施策</td> <td rowspan="3">（一社）日本車いすインストラクター協会</td> </tr> <tr> <td>スポーツインテグリティと指導者に求められる資質</td> </tr> <tr> <td>安全管理</td> </tr> </tbody> </table>			カリキュラム	講師	各障がいの理解 身体障がい編	県スポーツ課、（一社）日本ボッチャ協会	各障がいの理解 知的障がい編	県障がい者スポーツ指導者協議会	障がいのある人との交流	各障がいの理解 精神障がい編	全国障害者スポーツ大会の概要	（一社）日本車いすインストラクター協会	障がい者スポーツの意義と理念	コミュニケーションスキルの基礎	各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫	県障がい者スポーツ指導者協議会	障がい者スポーツ推進の取り組み	障がい者スポーツに関する諸施策	（一社）日本車いすインストラクター協会	スポーツインテグリティと指導者に求められる資質	安全管理
カリキュラム	講師																					
各障がいの理解 身体障がい編	県スポーツ課、（一社）日本ボッチャ協会																					
各障がいの理解 知的障がい編	県障がい者スポーツ指導者協議会																					
障がいのある人との交流																						
各障がいの理解 精神障がい編																						
全国障害者スポーツ大会の概要	（一社）日本車いすインストラクター協会																					
障がい者スポーツの意義と理念																						
コミュニケーションスキルの基礎																						
各障がいスポーツ指導上の留意点と工夫	県障がい者スポーツ指導者協議会																					
障がい者スポーツ推進の取り組み																						
障がい者スポーツに関する諸施策	（一社）日本車いすインストラクター協会																					
スポーツインテグリティと指導者に求められる資質																						
安全管理																						
参考	<p>令和5年度実績</p> <p>期日：令和5年12月3日（日）、12月9日（土）、10日（日） 会場：郡山市障害者福祉センター 受講者：21名</p>																					

事業名	②公認パラスポーツ指導者育成支援事業 (中級・上級資格取得のための支援)	決算額	67,221円
概要	上級資格取得、専門資格取得講習会に指導員を派遣し、専門指導の知識を高め、指導員に対する指導ができる指導員及び安全な事業運営に努めるための専門知識のある指導員を養成する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>指導員が上級・専門資格取得のため講習会等に参加する際の必要経費について、下記のとおり助成した。</p> <p>○1名に対し助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 公認パラスポーツ医養成講習会 (医師1名) 		
参考	<p>令和5年度実績</p> <p>1名に対し助成 (公認パラスポーツトレーナー養成講習会 (1次・2次講習会))</p>		

事業名	③福島県障がい者スポーツ指導者協議会運営事業	決算額	300,550円
概要	<p>専門指導力及び選手の競技力向上、地域スポーツの振興を図るための環境を整備するため、「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援する。</p>		
内容	<p>事業実績</p> <p>各部活動費として助成金（計300,000円）を交付するとともに、下記のとおり「福島県障がい者スポーツ指導者協議会」の運営を支援した。</p> <p>(1) 福島県障がい者スポーツ指導者協議会の日本パラスポーツ協会登録業務 (2) 各種パラスポーツ開催時の指導者への協力要請に対する情報提供 (3) 令和6年度東北ブロック障がい者スポーツ指導者研修会輪番開催業務</p> <p>期日 令和6年11月16日（土）15時から17時 会場 JR東日本仙台支社／東日本旅客鉄道株式会社東北本部 住所 仙台市青葉区五橋1丁目1番地1号</p> <p>内容</p> <p>第一部 講義 「地域においてボッチャ競技の選手育成強化のコツと選手が育つ環境づくり」 講師 日本ボッチャ協会 ハイパフォーマンスディレクター 村上光輝氏 （福島県障がい者スポーツ指導者協議会副会長）</p> <p>第二部 パリ2024パラリンピック ボッチャ競技日本代表選手らによる テーマ別ディスカッション</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（３）障がい者スポーツ団体並びに関連団体の育成及び支援

事業名	① 選手指導者組織育成支援事業	決算額	0円
概要	<p>特別支援学校、学級卒業後、競技として取り組むことを望む選手に対して、障がい者スポーツの各種競技団体を育成・支援し、競技環境を整える。また、専門競技のパラスポーツ指導者の活躍の場を確保し、得意種目の指導ができる環境を整備する。</p> <p>なお、競技を継続する上で特別な支援が必要とする個人競技選手、指導者に対して必要な支援を行う。</p>		
内容	<p>事業実績</p> <p>選手、役員、競技団体に対し、人材育成支援、組織運営支援、選手発掘・育成に関わる支援協力を行い、競技環境の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内競技団体との連携によるボッチャ日本代表等選手選考会に向けた練習計画作成等の支援 ○ 中央競技団体との連携による競技環境向上支援（専門スタッフの配置・斡旋）、競技用車いす制作・改造等の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 遠藤 裕美 令和4年4月～ ・ 長谷川 岳 令和5年4月～ ○ アスリート奨励金の推薦 <ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県ボッチャ協会よりの推薦 長谷川 岳 		
参考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自主事業 ・ 過去の支援実績 <ul style="list-style-type: none"> 平成 8年：知的障害者バスケットボール普及 平成 8年：フライングディスク、ボッチャ競技普及開始 平成 9年：冬季競技日本代表発掘事業（ジュニア発掘・育成） 平成12年：福島県障害者フライングディスク協会設立準備及び設立 平成16年：車椅子バスケットボール日本代表育成 平成21年：福島県障がい者陸上競技協会再編支援 平成23年：福島県障がい者アーチェリークラブ支援 平成25年：水泳選手育成支援 平成27年：陸上競技選手の競技用車椅子シーティング制作支援 平成28年：パラバドミントン選手支援 平成30年：ボッチャ選手育成支援 令和元～3年：ウィルチェアラグビー選手強化練習支援 令和4年度～：ボッチャ日本代表選手選考会に向けた練習計画作成等の支援 		

事業名	②団体競技強化支援事業	決算額	743,113円										
概要	全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会等への参加等に必要な費用を支援し、団体競技に取り組む障がい者アスリートの競技力向上を図る。												
内容	<p>事業実績</p> <p>下記の福島県代表団体競技チームに対し、全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会に出場するために必要な経費や、強化練習会等を実施するために必要な経費を助成した。</p> <p>○助成先（5団体）</p> <table border="0" data-bbox="335 824 1348 1030"> <tr> <td>・福島県F I Dバスケットボール協会</td> <td>バスケットボール（知的障がい）代表</td> </tr> <tr> <td>・福島県車椅子バスケットボール連盟</td> <td>車いすバスケットボール代表</td> </tr> <tr> <td>・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会</td> <td>グランドソフトボール代表</td> </tr> <tr> <td>・福島県障がい者サッカー連盟</td> <td>サッカー（知的障がい）代表</td> </tr> <tr> <td>・（医）一陽会病院 一陽会病院</td> <td>バレーボール（精神障がい）代表</td> </tr> </table>			・福島県F I Dバスケットボール協会	バスケットボール（知的障がい）代表	・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表	・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表	・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表	・（医）一陽会病院 一陽会病院	バレーボール（精神障がい）代表
・福島県F I Dバスケットボール協会	バスケットボール（知的障がい）代表												
・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表												
・（公社）福島県視覚障がい者福祉協会	グランドソフトボール代表												
・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表												
・（医）一陽会病院 一陽会病院	バレーボール（精神障がい）代表												
参考	<p>令和5年度実績</p> <table border="0" data-bbox="335 1825 1316 1944"> <tr> <td>・福島県F I Dバスケットボール連盟</td> <td>バスケットボール（知的障がい）代表</td> </tr> <tr> <td>・福島県車椅子バスケットボール連盟</td> <td>車いすバスケットボール代表</td> </tr> <tr> <td>・福島県障がい者サッカー連盟</td> <td>サッカー（知的障がい）代表</td> </tr> </table>			・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表	・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表	・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表				
・福島県F I Dバスケットボール連盟	バスケットボール（知的障がい）代表												
・福島県車椅子バスケットボール連盟	車いすバスケットボール代表												
・福島県障がい者サッカー連盟	サッカー（知的障がい）代表												

【公益事業】（４）障がい者スポーツ選手の競技力の向上

事業名	①各種助成事業	決算額	340,390円
概要	<p>パラリンピック、デフリンピックなどに日本代表として出場する選手・役員に対して激励金を贈呈するとともに、全国大会等に出場する選手・役員に対して経費の一部を助成し、財政的支援を行う。</p>		
内容	<p>事業実績</p> <p>(1) 国際大会等出場助成事業 国際大会等に出場した選手及びスタッフ10名に対し、激励金を贈呈した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パリ2024パラリンピック競技大会 選手：4名 スタッフ：3名 <p>(2) 全国スポーツ競技会等出場助成事業 全国大会及び東北大会に出場した個人及び団体に対して、経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人競技 延べ2名（東北大会・全国大会） ・ 団体競技 延べ2団体（東北大会・全国大会） 		
参考	<p>自主事業 ※令和5年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際大会等出場助成事業 なし ・ 全国スポーツ競技会等出場助成事業 個人競技延べ5名、団体競技延べ3団体に助成 		

事業名	②運動導入教室開催事業	決算額	1,872,542円
概要	障がいのある方の多くが運動・スポーツに接する機会が少ないことから、障がいのある方が運動等をはじめの機会の提供や医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導を行う。		
内容	<p>事業概要</p> <p>障がい者が日常的に運動・スポーツに接する機会を提供するため、障がい者が運動等をはじめの際の医事、スポーツ障がい予防、補装具制作等についての相談・指導、競技体験等を年度通じて県内2会場で定期的に行った。</p> <p>(1) 実施期日 令和6年4月4日(木)～令和7年3月27日(木) 郡山会場：毎週木曜日、毎月第1日曜日開催 福島会場：毎月4回程度開催</p> <p>(2) 実施回数 全104回実施(郡山会場：62回、福島会場：42回)</p> <p>(3) 実施場所 郡山会場：郡山市障害者福祉センター 福島会場：福島トヨタクラウンアリーナ、NCVふくしまアリーナ</p> <p>(4) 参加者数 延べ677名参加(郡山会場：267名、福島会場：410名)</p>		
参考	令和5年度実績 全104回実施(郡山会場：62回、福島会場：42回) 延べ605名参加(郡山会場：292名、福島会場：313名)		

事業名	③地域スポーツ教室開催事業	決算額	633,541円
概要	福島県障がい者スポーツ指導者協議会各支部と連携し、身近な地域でスポーツに親しむ環境づくりを推進する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>障がい者スポーツ指導者協議会各6支部が開催する、地域スポーツ教室及びスポーツ大会の開催費用等を支援した。</p> <p>○県北支部 スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ139名） スポーツ大会：1回開催（参加者：79名）</p> <p>○県中支部 スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ152名） スポーツ大会：1回開催（参加者：13名）</p> <p>○県南支部 スポーツ教室：9回開催（参加者：延べ88名） スポーツ大会：実施せず</p> <p>○会津支部 スポーツ教室：12回開催（参加者：延べ329名） スポーツ大会：1回開催（参加者：78名）</p> <p>○相双支部 スポーツ教室：2回開催（参加者：延べ54名） スポーツ大会：実施せず</p> <p>○いわき支部 スポーツ教室：11回開催（参加者：延べ389名） スポーツ大会：1回開催（参加者：71名）</p> <p>【合計】 スポーツ教室：56回開催（参加者：延べ1,151名） スポーツ大会：4回開催（参加者：243名）</p>		
参考	<p>※令和5年度実績</p> <p>【4支部合計】 スポーツ教室：46回開催（参加者：延べ540名） スポーツ大会：3回開催（参加者：97名）</p>		

事業名	④種目別スポーツ教室開催事業	決算額	1,659,335円																																										
概要	障がいのある方が運動スキルを楽しく身につけ、また、得意分野を発見できるよう幅広い種目のスポーツ教室を開催する。各競技団体等と連携して開催し、選手の育成・強化と普及・拡大を一体的に取り組む。																																												
内容	<p>事業実績</p> <p>障がいのある方が運動スキルの基礎を楽しく身につけ、得意分野を発見できるようにさまざまな種目のスポーツ教室を年間を通じて開催した。</p> <p>(1) 実施期日 令和6年4月～令和7年2月</p> <p>(2) 実施競技種目【12種目】</p> <table border="1" data-bbox="375 907 1291 1568"> <thead> <tr> <th>競技種目</th> <th>実施回数</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陸上競技</td> <td>全10回</td> <td>延べ201名</td> </tr> <tr> <td>フライングディスク</td> <td>全9回</td> <td>延べ143名</td> </tr> <tr> <td>ボッチャ</td> <td>全11回</td> <td>延べ188名</td> </tr> <tr> <td>卓球</td> <td>全4回</td> <td>延べ21名</td> </tr> <tr> <td>サウンドテーブルテニス</td> <td>全4回</td> <td>延べ4名</td> </tr> <tr> <td>バスケットボール（知的障がい）</td> <td>全13回</td> <td>延べ175名</td> </tr> <tr> <td>水泳</td> <td>全4回</td> <td>延べ9名</td> </tr> <tr> <td>アーチェリー</td> <td>全2回</td> <td>延べ2名</td> </tr> <tr> <td>サッカー</td> <td>全10回</td> <td>延べ177名</td> </tr> <tr> <td>グランドソフトボール</td> <td>全7回</td> <td>延べ62名</td> </tr> <tr> <td>車いすバスケ</td> <td>全6回</td> <td>延べ38名</td> </tr> <tr> <td>ソーシャルフットボール</td> <td>全2回</td> <td>延べ6名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>全82回</td> <td>延べ1,026名</td> </tr> </tbody> </table>			競技種目	実施回数	参加者数	陸上競技	全10回	延べ201名	フライングディスク	全9回	延べ143名	ボッチャ	全11回	延べ188名	卓球	全4回	延べ21名	サウンドテーブルテニス	全4回	延べ4名	バスケットボール（知的障がい）	全13回	延べ175名	水泳	全4回	延べ9名	アーチェリー	全2回	延べ2名	サッカー	全10回	延べ177名	グランドソフトボール	全7回	延べ62名	車いすバスケ	全6回	延べ38名	ソーシャルフットボール	全2回	延べ6名	合計	全82回	延べ1,026名
競技種目	実施回数	参加者数																																											
陸上競技	全10回	延べ201名																																											
フライングディスク	全9回	延べ143名																																											
ボッチャ	全11回	延べ188名																																											
卓球	全4回	延べ21名																																											
サウンドテーブルテニス	全4回	延べ4名																																											
バスケットボール（知的障がい）	全13回	延べ175名																																											
水泳	全4回	延べ9名																																											
アーチェリー	全2回	延べ2名																																											
サッカー	全10回	延べ177名																																											
グランドソフトボール	全7回	延べ62名																																											
車いすバスケ	全6回	延べ38名																																											
ソーシャルフットボール	全2回	延べ6名																																											
合計	全82回	延べ1,026名																																											
参考	令和5年度実績 10種目実施（全60回、延べ870名参加）																																												

事業名	⑤各障がい者スポーツ大会支援事業	決算額	558,133円
概要	県内の各障がい者スポーツ競技団体が、選手の練習成果発揮の機会提供及び実戦を通じた競技力向上を目的に開催する各競技の大会開催に要する費用を支援する。		
内容	<p>事業実績 県内で開催される各競技の大会に対して開催経費の一部を助成した。</p> <p>○助成先（5団体）</p> <p>①福島パラ陸上競技協会 大会名：2024北海道・東北パラ陸上競技大会【World Para Athletics公認】兼県北記録会 開催期日：令和6年10月5日（土）～6日（日） 参加者：465名（選手155名、スタッフ310名）</p> <p>②福島県障がい者フライングディスク協会 大会名：第25回福島県障がい者フライングディスク大会 開催期日：令和6年9月22日（日） 参加者：192名（選手132名、スタッフ60名）</p> <p>③福島県FIDバスケットボール連盟 大会名：令和6年度ひまわりカップ（東北・北海道ブロックFIDバスケットボール交歓大会） 開催期日：令和6年9月28日（土）～29日（日） 参加者：82名（選手69名、スタッフ13名）</p> <p>④福島県障がい者サッカー連盟 大会名：第18回SFIDA-CUP 開催期日：令和7年3月9日（日） 参加者：121名（選手96名、スタッフ25名）</p> <p>⑤（一社）福島県卓球協会 大会名：パラIDジャパン・年代別オープン卓球大会2024 [第8回] 開催期日：令和6年9月28日（土）～29日（日） 参加者：130名（選手90名、スタッフ40名）</p>		
参考	令和5年度実績 5大会（5競技団体）に対し助成		

事業名	⑥ふくしまネクストアスリート支援事業	決算額	1,046,221円
概要	<p>今後の本県障がい者スポーツ発展の牽引役を担うことが期待される本県選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、競技力強化に要する経費を支援する。</p>		
内容	<p>事業実績</p> <p>将来にわたって活躍が期待される選手を「ふくしまネクストアスリート」として指定し、中央競技団体、個人等で実施する強化練習会や大会等へ参加する場合に必要な費用等について支援した。</p> <p>○指定アスリート：10名</p>		
参考	<p>令和5年度実績 指定アスリート11名</p>		

事業名	⑦ふくしまシャイニングスタープロジェクト	決算額	390,772円
概要	<p>県内在住の障がいのある方を対象に体力・身体測定会や競技体験を実施し、優れた素質や潜在的な能力を持つアスリートの原石を発掘し、将来的に本県を代表する選手として国内や世界で活躍する次世代パラアスリートの輩出を目指すとともに、障がい特性や興味・関心に応じた競技への参画を促し、本県のパラスポーツ各競技の競技人口の拡大を図る。</p>		
内容	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名称：令和6年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクト ○実施日：令和7年3月23日（日） ○会場：郡山市障害者福祉センター、郡山市香久池保育所グラウンド ○参加者：21名（定員30名、応募24名） ※このほか参加者の家族など30名 ○内容：身体測定、体組成測定、各競技団体による競技体験及び相談会 ○協力：福島県障がい者スポーツ指導者協議会、福島県障がい者スポーツ医学委員会、福島県立医科大学保健科学部、郡山健康科学専門学校、福島パラ陸上競技協会、福島県ボッチャ協会、福島県車いすバスケットボール連盟、福島県F I Dバスケットボール連盟、N P O法人日本パラ・パワーリフティング連盟、福島県障害者スキー協会、N P O法人スペシャルオリンピックス日本・福島、福島県障がい者サッカー連盟、一般社団法人車いすラグビー連盟、TOHOKU STORMERS、一般社団法人日本パラサイクリング連盟、公益社団法人日本トライアスロン連合 ○実施内容：第1部・・・身体測定 <ul style="list-style-type: none"> 【測定項目】 握力、形態計測（身長、体重、上肢長、下肢長、手の長さ）、肩関節柔軟性、股関節可動域、足関節可動域、膝関節可動域、体組成測定 第2部・・・競技体験・相談会 <ul style="list-style-type: none"> 【競技種目】 陸上、ボッチャ、車いすバスケットボール、バスケットボール（知的障がい）、パラ・パワーリフティング、障がい者スキー、サッカー（知的障がい）、車いすラグビー、パラサイクリング、トライアスロン 		
参考	<p>令和5年度実績 実施なし 令和4年度実績 会場：福島県立郡山支援学校 参加者：24名</p>		

【公益事業】（５）障がい者スポーツに関する普及啓発及び広報

事業名	①スポーツからはじめる共生社会実現プロジェクト	決算額	13,290,362円
概要	<p>スポーツを通じた共生社会の実現を図るためには、障がいのある方と障がいのない方が一緒にスポーツに親しみ、互いの理解を深めてもらうことが重要であるため、出前講座の実施や体験ブースの出展による、障がい者スポーツの魅力発信に取り組むとともに、地域に根差した支援者の育成や用具の貸出等により、身近な場所でスポーツを楽しめる環境を整備する。</p>		
内容	<p>事業実績</p> <p>【ステップアップ×魅力発信】</p> <p>(1) 出前講座（体験教室・後援）の開催</p> <p>パラ・デフスポーツを多くの人たちが体験できるよう、学校・総合型地域スポーツクラブ・地元企業・地域団体・自治体等の様々な団体からの要望に応じた、様々なパラ・デフスポーツ競技体験や講話等からなる出前講座を実施した。</p> <p>○開催回数：全72回</p> <p>○参加者数：3,626名</p> <p>○実施内容：ボッチャ、車いすバスケ、シッティングバレー、ゴールボール等の体験、講演</p> <p>○講師：・村上光輝氏（東京2020パラリンピックボッチャ代表監督） ・豊島英氏（東京2020パラリンピック男子車いすバスケ代表主将） ・TEAM EARTH（県内車いすバスケットボールチーム） ・その他、中央競技団体、県内競技団体、協会事務局など。</p> <p>(2) 障がい者スポーツ体験ブース等の出展</p> <p>障がいのない人たちにも広く知ってもらえるよう、自治体や競技団体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、パラ・デフスポーツのデモンストレーションの実施や競技体験ブースを複数回出展した。</p> <p>○実施回数：全7回（2024東京国際ユース(U14)サッカー大会、いわきドリームチャレンジ2024、猪苗代スポーツフェスティバル等）</p> <p>○体験競技：ボッチャ、デフサッカー、ブラインドサッカー等</p> <p>○参加者：483名</p> <p>(3) ボッチャふくしまカップ2024の開催</p> <p>障がいの有無や性別、年齢、国籍等に関係なく、全ての人と同じ場で共にスポーツに親しみ、競い合う機会を創出する企画として、ボッチャ競技による全県規模の大会を初めて開催した。</p> <p>○期 日：令和6年12月1日（日）</p> <p>○会 場：福島トヨタクラウンアリーナ（国体記念体育館）</p> <p>○参加者：48チーム（180名） ※障がい者は17チーム（32名）</p>		

内
容

【ステップアップ×環境整備】

(1) サポーター養成講習会の開催

パラスポーツに関心のある若年層から、地域に根ざしてパラスポーツを支える活動を行う人材を育成するため、県内にある大学等の在学生・医療関係者（各地域の理学療法士及び作業療法士等）等を対象とした研修会を開催した。

○実施回数：全3回

○参加者：115名

○会場：県立医科大学保険科学部、医療創生大学、郡山健康科学専門学校

○講師：村上光輝氏（特任コーディネーター）

橋本大介氏（（一社）日本車いすインストラクター協会代表）など

(2) 障がい者スポーツ用具の貸出事業

パラスポーツを身近な場所でいつでも、誰でも行えるよう、専用用具等について貸出を行う。障がいがない人により深く体験してもらう機会とするとともに、障がいがある人が、経済的負担等によりスポーツに取り組むことを諦めることのないよう、個人の障がい特性や希望に応じた用具の貸出も行った。

○貸出件数：全16件

○貸出用具：ボッチャセット、ボッチャシート、競技用車いす、卓球バレーセット等

【東京2025デフリンピック機運醸成への取組等】

(1) 県内プロスポーツチームの公式戦等における「手話応援デー」の開催

「東京2025デフリンピック」のサッカー競技の本県（会場：Jヴィレッジ）開催に向けた機運醸成を図るため、県や県内プロスポーツチーム等と連携し「手話応援デー」を実施した。

ア 福島ユナイテッドFC

○期 日：令和6年7月7日（日）

○会 場：とうほうみんなのスタジアム（福島市）

○入場者数：1,178名

○内 容：・試合を手話で応援

・事前練習用に選手が出演する手話応援動画を配信

・デフサッカー体験教室（44名参加）

・手話体験ブース（198名） など

○協 力：（一社）日本ろう者サッカー協会、（一社）福島県聴覚障害者協会

イ いわきFC

○期 日：令和6年11月10日（日）

○会 場：ハワイアンズスタジアムいわき（いわき市）

○入場者数：5,034名

○内 容：・試合を手話で応援

・事前練習用に選手が出演する手話応援動画を配信

・デフサッカー体験教室（20名参加）

・手話体験ブース（110名参加） など

○協 力：（一社）日本ろう者サッカー協会、（一社）福島県聴覚障害者協会

<p>内容</p>	<p>(2) 国際手話通訳テキストの無料配布事務 大会の開催を契機としたろう者の文化の理解促進に向け、国際手話に係るテキストについて広く県民に配布するとともに、本事業等で行われる各種イベント等の機会において配布した。 ○配布冊数：36冊</p> <p>(3) デフスポーツ体験イベント・ブース出展等の実施 大会の機運醸成に向け、県や関係機関と連携を図りながら、自治体や競技団体等が開催するスポーツイベントや県内プロスポーツチームのホーム試合・イベント等とタイアップしながら、関連競技のデモンストレーションの実施や体験ブースを出展した。 併せて、デフリンピックに係るパンフレット等の配布、パネル展示等を実施した。 ○ デフスポーツ体験イベント・ブース出展 ・2024東京国際ユース(U14)サッカー大会 …デフサッカー体験 ・手話応援デー(福島ユナイテッドFC) …デフサッカー体験 ・手話応援デー(いわきFC) …デフサッカー体験 ・ボッチャふくしまカップ2024 …デフリンピックPR</p>
<p>参考</p>	<p>本プロジェクトは令和6年度末で終了。</p>

事業名	②協会広報誌の発行及び障がい者スポーツに関する情報提供	決算額	22,970円
概要	賛助会員及び会員獲得のため、協会広報誌を発行するほか、ホームページ等を活用し、障がい者スポーツに関する各種情報の提供を行う。		
内容	<p>事業実績</p> <p>(1) 広報紙の発行 令和6年度の活動状況等について報告・周知するため作成(500部)、関係機関等へ広く配付したほか、ホームページにも掲載した。</p> <p>(2) ホームページ及び各種SNSによる情報発信 協会ホームページや各種SNS(X(旧Twitter)、Facebook、Instagram)により随時情報発信を行った。</p>		
参考	自主事業		

【公益事業】（6）障がい者スポーツに関する相談、指導及び調査研究

事業名	①各種障がい者スポーツに関する情報収集 障がい者スポーツ医学委員会の開催	決算額	31,285円
概要	各種会議、講習会等に出席し、最新の情報を元に安心安全なスポーツ環境の提供を図る。		
内容	<p>事業実績</p> <p>1 各種障がい者スポーツに関する情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度パラスポーツ東北ブロック連絡協議会 開催日：令和6年9月26日（木） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員1名 ・ 令和6年度JPSA登録団体合同会議 開催日：令和7年3月7日（金） 出席者：福島県障がい者スポーツ協会職員3名 オンライン参加 <p>2 障がい者スポーツ医学委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第62回福島県障がい者スポーツ大会（会津若松市ほか） 令和6年5月19日（日）パラスポーツ医1名派遣 ○ 全国障害者スポーツ大会北海道・東北ブロック予選会 <ul style="list-style-type: none"> ・ バレーボール競技（精神障がい） 令和6年6月23日（日）パラスポーツ医1名派遣 ・ 車いすバスケットボール競技 令和6年6月30日（日）パラスポーツ医1名派遣 ○ 第23回全国障害者スポーツ大会 佐賀大会 令和6年10月24日（木）～28日（火）パラスポーツ医1名派遣 ○ 令和6年度福島県障がい者スポーツ医学委員会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1回：令和6年4月15日（月）18時30分～ オンライン開催 ・ 第2回：令和6年12月9日（月）18時30分～ オンライン開催 ○ 令和6年度ふくしまパラスポーツ・シャイニングスタープロジェクト 令和7年3月23日（日）パラスポーツ医1名、パラスポーツトレーナー1名派遣 		
参考	自主事業		

【公益事業】（７）その他の事業

事業名	①チャレンジド・スポーツ支援事業	決算額	1,426,805円
概要	企業が東日本大震災復興支援を目的として実施する事業に協力とともに、企業からの奨励金（補助金）を活用した事業を展開する。		
内容	<p>事業実績</p> <p>1 サントリーチャレンジド・アスリート奨励金を活用した事業の実施 重度障がい児・者のスポーツ参加を目的に、VR等によるスカイスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさを伝え、笑顔を届けるとともに、障がいのある子どもたちの将来の自分づくりに向けた夢や希望を育み、未来へ挑戦するきっかけを提供することを目的として、以下の事業を実施した。 なお、実施に当たっては、東北サンさんプロジェクト（※）のチャレンジド・スポーツの支援金を活用した。</p> <p>○名称：パラスポーツ ふくしまの空を舞う ○期 日：令和6年12月3日（火） ○会 場：福島県立大笹生支援学校 ○参加者：小学部児童77名、中学部生徒38名 ○内 容：VRフライト体験、飛行機キットの製作、紙飛行機製作など ○ゲスト：室屋義秀氏（エアレース・パイロット） ○スタッフ：株式会社パスファインダー 学生ボランティア（福島県立医科大学、福島大学）16名 協会職員</p>		
参考	<p>※ 東北サンさんプロジェクト サントリーグループが、「漁業支援」「子ども支援」「チャレンジド・スポーツ支援」「文化・芸術・スポーツ支援」の分野を中心に取り組む復興支援活動。その中の「チャレンジド・スポーツ」分野での支援を受けている。</p>		

【法人会計】（８）協会の運営

事業名	協会の運営に関わる管理経費等	決算額	542,503円
概要	協会の運営に関わる評議員会、理事会等の会議の開催経費他、行政財産使用料、法人会計に係る税理士経費を確保し、安定した法人運営を目指す。		
内容	<p>事業実績</p> <p>○ 会議の開催</p> <p>（１）理事会</p> <p>ア 第1回理事会 令和6年6月3日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告・収支決算について他 <p>イ 臨時理事会 令和6年6月25日（水）※議決省略（書面開催）とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長及び副理事長の選定について <p>ウ 第2回理事会 令和7年2月20日（木）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度事業計画・収支予算について他 <p>（２）評議員会</p> <p>ア 第1回評議員会 令和6年6月25日（火）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業報告・収支決算について他 <p>イ 第2回評議員会 令和7年3月17日（月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度事業計画・収支予算について他 <p>（３）監事監査</p> <p>令和6年5月17日（金）、22日（水）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度事業実績・収支決算について <p>○ 財務・会計事務専門家（税理士）による助言・指導等</p> <p>菊地義直税理士・行政書士事務所と契約を締結し、決算資料の検査及び消費税申告額の計算を依頼した他、財務・会計事務関係の助言及び指導等を受けた。</p> <p>当年度の実績は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度決算資料検査・消費税申告額計算 令和6年5月8日（水） <p>※ このほか、疑義事項等について、適宜電話やメール等で助言・指導を受けた。</p>		
参考			

事業報告書の附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の内容としての「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。